

教科名	探究科	校種	高等学校
-----	-----	----	------

科目の配当				
学年	科目名	必・選	単位	授業展開など、授業の形態
1 年	探究	必	1	TT (チームティーチング)
2 年	探究	必	1	TT (チームティーチング)
3 年	探究	必	1	TT (チームティーチング)

科目名 (教科名)		探究 (探究科)			
学年	1	単位数	1	必修・選択・展開	必修
目的	1. 深い学び、対話的な学び、主体的な学びを通し、生徒の問題解決能力を育てる 2. 国際社会の課題 (SDGs) についての知識や、問題意識を持たせ、卒業後の行動につながる力を育成する 3. 学びの方法 (アカデミックスキル) を体験的に学び、主体的に情報の収集・表現・発表ができる能力を育てる 4. 修得した知識・アカデミックスキルと、自らの問題意識をもとに、論文を作成する				
学期	授業の項目			内容	
1学期	①情報を整理し文章でまとめよう ②要約しよう ③ポスターセッションをしよう			・ 情報をイメージマップ・ベン図などの思考ツールを使って整理し、文章にまとめさせる ・ 国際社会についての講演の内容から知識を得つつ、話の内容を要約するスキルを習得する ・ テキストを用い、グループでポスターセッションの形にまとめさせる	
2学期	④本から情報を抜き出そう ⑤ディベートをしよう ⑥平和について話し合おう ⑦表・グラフから情報を読み取ろう			・ 文献の内容から必要な情報を正しく読み取るスキルを身につける ・ 論理的に話すスキルを身につけるために、ディベートを行う ・ 答えのない問いについて番組を参考に議論し、深い自分の意見を持たせる ・ 表・グラフからデータを読み取り表現する方法についてグループワークを行う	
3学期	⑧問いを立てよう ⑨レジュメを使って発表しよう			・ 論文制作の第一歩として、問いを立てる練習を行う ・ テキストを用い、個人でレジュメの形でまとめさせる	
評価の観点	【知識・技能】 (30%)	学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付けており探究することの意義や価値を理解している		・ 課題解決に必要な語句の理解	
	【思考・判断力・表現】 (40%)	実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方・考え方を用いて、自分で課題を立て、情報を集め、整理してまとめ、発表している		・ ワークシートの思考問題 (例) 意見記述、論述問題 ・ レポート・プレゼン・発表 ・ 話し合い・作品制作	
	【主体的に学習に取り組む態度】 (30%)	実社会や実生活の中から問いを見出し、主体的・協働的 (協同的) に課題の解決に取り組み、学習したことを自己の生き方に生かし、主体的にさらに高次の課題に取り組もうとしている		・ 振り返り ・ 授業態度・課題提出	
評価の方法と割合	・ 制作物・発表・課題レポートと参加態度など平常点を加味して評価する ・ 定期テストは実施しない ・ イングリッシュコースは必要に応じて内容を変更しながら、イメージ形式で授業をする				
教科書・副教材等	● 教科書 : なし ● 副教材 : 「今がわかる 時代がわかる 世界地図2023」 (成美堂出版) ワークシートを適宜配布する				

科目名 (教科名)		探究 (探究科)			
学年	2	単位数	1	必修・選択・展開	必修
目的	1. 深い学び、対話的な学び、主体的な学びを通し、生徒の問題解決能力を育てる 2. 国際社会の課題 (SDGs) についての知識や、問題意識を持たせ、卒業後の行動につながる力を育成する 3. 学びの方法 (アカデミックスキル) を体験的に学び、主体的に情報の収集・表現・発表ができる能力を育てる 4. 修得した知識・アカデミックスキルと、自らの問題意識をもとに、論文を作成する				
学期	授業の項目			内容	
1学期	①キーワードでリサーチ (グループ) ②プレゼンテーションから学ぼう			<ul style="list-style-type: none"> キーワードから一つを選び、リサーチし (INPUT)、わかりやすく説明するために自身の「理解」を深める プレゼンテーション (OUTPUT) を行うための準備を通して、わかりやすく、人を惹きつけるプレゼンとはどのようなものかを考える。 プレゼンテーションを見聞きしながら、自らの疑問を質問として投げかける。 	
2学期	③企業とのコラボレーション (グループ)			<ul style="list-style-type: none"> 森下仁丹株式会社と協働し、同社の仁丹の商品パッケージとプロモーションを考える 	
3学期	⑦卒論のテーマを決めよう ⑧テーマについてのリサーチをスライドで発表しよう (個人)			<ul style="list-style-type: none"> 高校3年時に書く論文についてのガイダンスを行い、テーマ設定、調査内容について助言を行う 論文のテーマについてプレゼンテーションを行う 	
評価の観点	【知識・技能】 (30%)	学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付けており探究することの意義や価値を理解している		<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に必要な語句の理解 	
	【思考・判断力・表現】 (40%)	実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方・考え方をを用いて、自分で課題を立て、情報を集め、整理してまとめ、発表している		<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの思考問題 (例) 意見記述、論述問題 レポート・プレゼン・発表 話し合い・作品制作 	
	【主体的に学習に取り組む態度】 (30%)	実社会や実生活の中から問いを見出し、主体的・協働的 (協同的) に課題の解決に取り組む、学習したことを自己の生き方に生かし、主体的にさらに高次の課題に取り組もうとしている		<ul style="list-style-type: none"> 振り返り 授業態度・課題提出 	
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> 制作物・発表・課題レポートと参加態度など平常点を加味して評価する 定期テストは実施しない イングリッシュコースは必要に応じて内容を変更しながら、イメージ形式で授業をする サイエンスコースは必要に応じて内容を変更しながら、ゼミ形式で授業をする 				
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 : なし ● 副教材 : 「今がわかる 時代がわかる 世界地図2022」 (成美堂出版) ワークシートを適宜配布する 				

科目名（教科名）		探究（探究科）			
学年	3	単位数	1	必修・選択・展開	必修
目的	1. 深い学び、対話的な学び、主体的な学びを通し、生徒の問題解決能力を育てる				
	2. 国際社会の課題（SDGs）についての知識や、問題意識を持たせ、卒業後の行動につながる力を育成する				
	3. 学びの方法（アカデミックスキル）を体験的に学び、主体的に情報の収集・表現・発表ができる能力を育てる				
	4. 修得した知識・アカデミックスキルと、自らの問題意識をもとに、論文を作成する				
学期	授業の項目			内容	
1学期	①卒論ガイダンス・テーマ・ゼミ決定 ②第1回ゼミ発表 ③第2回ゼミ発表 ④論文の構成表を作ろう			<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマは春休み中に考えさせる ・ テーマについて調べ発表 ・ 1回目の課題をもとに再構成 ・ 2回の発表をもとに設計図制作 	
2学期	⑤論文の下書きをしよう ⑥論文をもとに発表しよう ⑦論文を書こう			<ul style="list-style-type: none"> ・ 構成表をもとに論文を制作 ・ 発表+論文の添削 ・ 添削をもとに論文制作・提出 	
3学期				<ul style="list-style-type: none"> ・ 論文集を制作し配布予定 	
評価の観点	【知識・技能】 (30%)	学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付けており探究することの意義や価値を理解している			<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決に必要な語句の理解
	【思考・判断力・表現】 (40%)	実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方・考え方をを用いて、自分で課題を立て、情報を集め、整理してまとめ、発表している			<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートの思考問題 (例) 意見記述、論述問題 ・ レポート・プレゼン・発表 ・ 話し合い・作品制作
	【主体的に学習に取り組む態度】 (30%)	実社会や実生活の中から問いを見出し、主体的・協働的（協同的）に課題の解決に取り組み、学習したことを自己の生き方に生かし、主体的にさらに高次の課題に取り組もうとしている			<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返り ・ 授業態度・課題提出
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制作物・発表・課題レポートと参加態度など平常点を加味して評価する ・ 定期テストは実施しない ・ イングリッシュコースは必要に応じて内容を変更しながら、イマージョン形式で授業をする ・ サイエンスコースは必要に応じて内容を変更しながら、ゼミ形式で授業をする 				
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 : なし ● 副教材 : 「今がわかる 時代がわかる 世界地図2021」(成美堂出版) ワークシートを適宜配布する 				